

2021年2月11日

第55回「建国記念の日」不承認 大阪府民のつどい

▷意見発表

菅政権による日本学術会議への 介入と学問の自由をめぐる

発表者：景山佳代子

神戸女学院大学准教授

安保法制に反対する関西圏大学有志の会



1. 孤立するアカデミズム

菅首相による任命拒否理由



朝日新聞デジタル

日本学術会議は、年間10億円も税金を使い、
会員選考が閉鎖的。**既得権益を打破！**

事実は・・・

- ・ 職員約50人の人件費や事務費など約5億5千万円。
- ・ 会員210人に固定給なし。手当合計約7200万円。自腹出張する会員も。
- ・ 後任指名不可能。複数の専門家による選考過程。

実は・・・

- ・ 官房機密費7年8ヶ月で86億千万円。
- ・ 1日平均307万円。
- ・ 「お答え差し控える」の不透明な政治決定



しかし、任命拒否をした**国の問題**ではなく、
「日本学術会議の問題」にすり替えられる・・・。



2. 任命拒否をめぐる懸念

①日本学術会議「戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない決意の表明」(1950年4月)の無効化を狙う？⇒**軍学共同**の推進⇒戦前の科学・学問の戦争協力の再現。

*ご参考までに：MBSニュースなラヂオ動画班YouTube「学問の自由って「何なんw」」(2020/10/30)

②政権に批判的な学者の意見封じ⇒**萎縮効果**と“忖度”による政治支配のさらなる進行。

例)2020年10月16日 中曽根康弘元首相の合同葬で、文科省が82国立大学に弔旗・半旗掲揚を通知。うち56校が掲揚、19校が掲揚せず。

③“御用学者”化の広がり⇒政権に都合がよい見解は「専門家の意見」を強調。

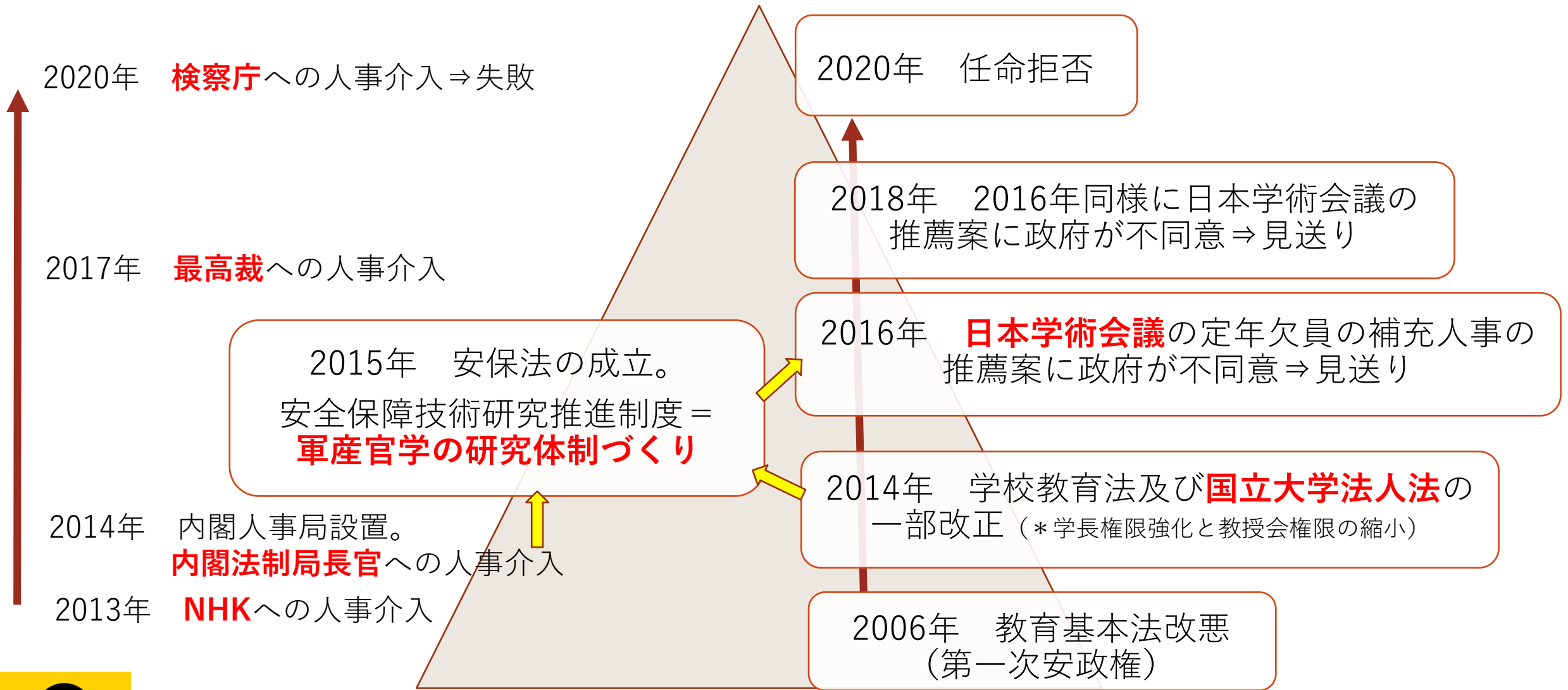
⇒不都合な専門家の意見は無視(原発、安保、コロナなど)⇒**生命・安全の危機**。

* 学問あるいは専門知の**道具化・政治化**の進行。

* 言論の自由、表現の自由、思想・信条の自由の**形骸化**



3. 任命拒否問題を安倍＝菅政権の流れで捉える。



メディアと教育の統制、司法と学問に政治介入⇒民主主義の危機！